(政－様式4) 重点施策調書

①施策名	礎1－(3) 文化やスポーツなどによる活動の場づくり			
②細項目	①文化・スポーツの振興による活動の場づくり ②県民の意欲に応える生涯学習の環境づくり		③細項目コード	1131 1132
④担当課	文化スポーツ局　文化振興課	⑤関係部局	文化スポーツ局、教育庁	

【現状分析】

⑥指標の分析	◆成人の週2回以上の運動実施率 健康に関する関心が高まっており、平成21年度33.2%から今後も更なる上昇を目指す。 ◆福島県芸術祭参加行事数 芸術祭は、県内6重点地区持ち回りで開催しており、各地区の事情により、参加行事数に増減が生じる。平成21年度は、県中地区での開催で61行事であったが、県北地区で開催した前年度の73行事を下回っている。 ◆スポーツボランティア参加率 日本スポーツマスターズ2004福島大会のスポーツボランティアが中心となり平成17年度春に設立された「うつくしまスポーツルーターズ」の活動を核として、県内では「支える」スポーツの展開が図られており、上昇傾向にある。(H17 7.4%→H21 16.4%) ◆県民カレッジ受講者数 平成21年度は 44,341人であり、本県において「全国生涯学習フェスティバル」が実施され、一時的に受講者数が増加した前年度47,150人との比較では下回ったが、前々年度の31,354人と比較すると順調に推移している。
⑦社会経済情勢等	◆景気の低迷 ◆ライフスタイル・価値観の多様化 ◆少子高齢化社会に伴う伝統文化の担い手減少
⑧平成21年度の主な取組み実績・成果	〈細項目①〉 ◆うつくしま文化元気ルネサンス事業 ルネサンス宣言大会(喜多方市)、ルネサンスフェスタ(福島市)の開催、地域の魅力発見フォーラム(猪苗代町)、オータムキャンペーンの実施など ◆声楽アンサンブルコンテスト全国大会開催事業 94団体(32道府県、1海外)が出場 ◆地域連携型人材育成事業 バトミントン・ゴルフについて専任コーチによる指導を実施、JAFアカデミーコーチによるサッカーの授業を実施 〈細項目②〉 ◆夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト 全国生涯学習フェスティバル継承事業として、福島こどものみらい映画祭や青春エムンドライブ09を開催し、生涯学習の成果発表の場を提供した。 ◆県民カレッジ推進事業 学習情報誌「夢まなびと」を発行(年2回発行、各10,000部)した。 ◆県有施設の整備充実 美術館、博物館、海洋科学館等の県有施設において、各種企画展・研修会等を開催した。
⑨平成22年度の主な取組み	〈細項目①〉 ◆声楽アンサンブルコンテスト全国大会開催事業、 ◆ふくしま総文交流推進事業、 ◆(新)いきいき地域文化活力創出事業、 ◆うつくしま文化元気ルネサンス事業、 ◆(新)指定文化財保存活用事業、 ◆うつくしま広域スポーツセンター事業、 ◆地域連携型人材育成事業、 ◆(新)「陸上王国福島」基盤整備事業 〈細項目②〉 ◆県民カレッジ推進事業((一部新)夢わくわく「学ぶんじゃー」プロジェクト、(新)21世紀ふくしま文化担い手育成事業)、 ◆県有施設の施設管理・整備・充実 美術館、博物館、海洋科学館等の県有施設において、各種企画展・研修会等を実施する。

【課題整理】

⑩施策を推進する上での課題	〈細項目①〉 ◆本県の優れた文化活動が十分に知られていない。 ◆ライフステージ・ライフスタイルが多様化している中で、県民の運動やスポーツに対する潜在的なニーズに応えきれていない。 ◆文化やスポーツの県有施設が有効に活用されるよう、機能の充実を図る必要がある。 〈細項目②〉 ◆県民を対象とした意識調査（平成21年9月～10月実施）の結果から、生涯学習をしていない理由として「仕事や家事が忙しくて時間がない。」「きっかけがつかめない」「情報が手に入らない」等との回答が多く、学ぶ意欲がありながらも情報等がないためにあきらめている人が多い。 ◆生涯学習を広げていくには民間との連携が必要であるが、まだ十分でない。

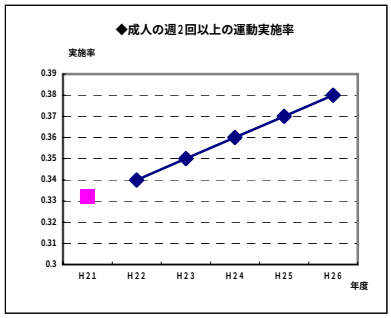
⑪今後の取組みの方向性	〈細項目①〉 ◆本県の持つ地域特性や豊かな文化的資源を活用し、その魅力を県内外に広く発信することにより、地域の活性化に結び付ける。 ◆引き続き、総合型スポーツクラブなど身近にスポーツに触れ親しむことのできる場を充実させる。 ◆県民の文化やスポーツに触れる場や学びの場を充実させるため、施設・設備の適切な維持管理を図るとともに、施設間の連携を一層強化するなど、魅力ある施設づくりを進める。 〈細項目②〉 ◆個人の学び（今まで生涯学習をしていない方を含めた）を広げるため、適切な情報を提供するほか、各世代に応じた学びの場や発表の場を設け、学ぶことの楽しさを伝える等、生涯学習の普及啓発を図る。 ◆いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができるよう民間との連携をさらに強化・拡充し、県民の学習環境の整備を図る。

（様式４の付表）

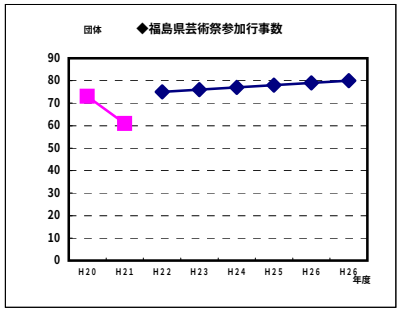
指標の状況

①施策	礎１－（3）文化やスポーツなどによる活動の場づくり		
②細項目	①文化・スポーツの振興による活動の場づくり ②県民の意欲に応える生涯学習の環境づくり	③コード	1131 1132

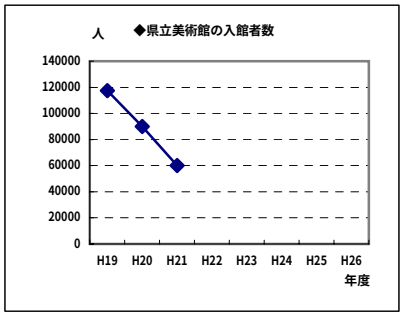
④指標名	成人の週２回以上の運動実施率							
⑤指標の説明	県の調査において、週２回以上運動を実施していると回答した者の割合（%）							
⑥指標の推移	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
目標				34%	35%	36%	37%	38%
実績			33.2%					
達成率								
⑦分　析	・健康に関する関心が高まっており、平成２１年度から今後もさらなる上昇を目指す。							



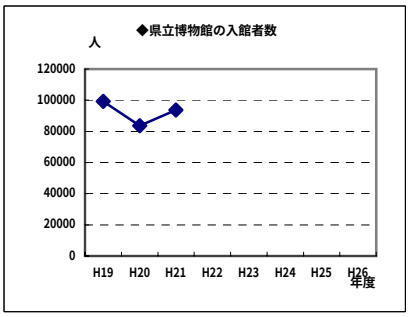
④指標名	福島県芸術祭参加行事数							
⑤指標の説明	福島県芸術祭に主催行事または参加行事として参加した行事数（行事）							
⑥指標の推移	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
目標				75	76	77	78	80
実績		73	61					
達成率								
⑦分　析	・芸術祭は、県内６重点地区持ち回りで開催しており、各地区の事情により、参加行事数に増減が生じる。平成２１年度は、県中地区での開催であったが、県北地区で開催した前年度の行事数を下回っている。							



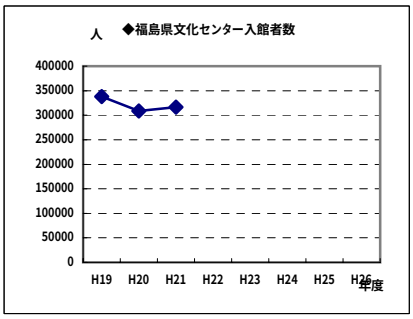
④指標名	県立美術館の入館者数							
⑤指標の説明	県立美術館の常設展及び企画展の入館者数(人)							
⑥指標の推移	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
目標				モニタリング指標				
実績	117,407	89,998	60,015					
達成率								
⑦分　析	・平成２１年度は前年度を下回っており、２年連続で減少した。							



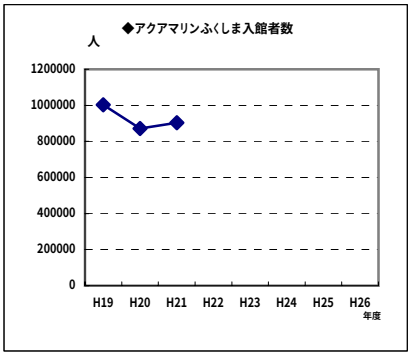
④指標名	県立博物館の入館者数							
⑤指標の説明	１年間に博物館に入館した延べ人数(人)							
⑥指標の推移	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
目標				モニタリング指標				
実績	99,300	83,572	93,596					
達成率								
⑦分　析	・平成２１年度は前年度を上回った。９万人前後で推移している状況である。							



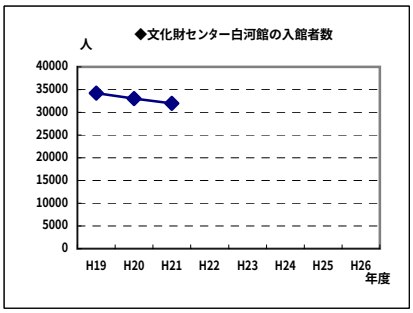
④指標名	福島県文化センター入館者数							
⑤指標の説明	福島県文化センターの年間入場者数(人)							
⑥指標の推移	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
目標				モニタリング指標				
実績	338,126	308,649	330,744					
達成率								
⑦分　析	・入館者数は、３０万人を前後して横ばいとなることが予想される。 ・平成２２年度は改修工事等により、施工期間中の入場者減少が予想される。							



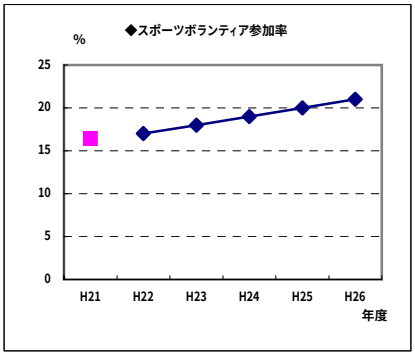
④指標名	アクアマリンふくしま入館者数							
⑤指標の説明	アクアマリンふくしまの年間入館者数(人)							
⑥指標の推移	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
目標				モニタリング指標				
実績	1,002,446	871,666	903,498					
達成率								
⑦分　析	・魅力ある企画展、イベント開催、アクアマリンえっぐ効果等により平成２１年度は前年度を上回った。 ・今年度も、開館１０周年イベント等により、入館者増が見込まれる。							



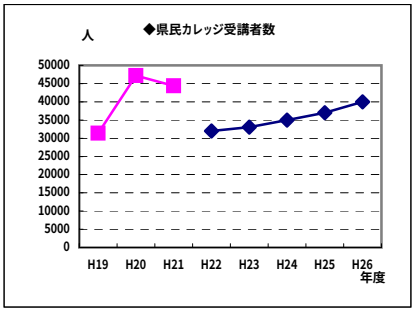
④指標名	文化財センター白河館の入館者数							
⑤指標の説明	年間の文化財センター白河館の入館者数(人)							
⑥指標の推移	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
目標				モニタリング指標				
実績	34,235	33,007	31,953					
達成率								
⑦分　析	・平成２１年度は前年度を若干下回ったが、傾向としては横ばいの状況にある。							



④指標名	スポーツボランティア参加率							
⑤指標の説明	県の調査において、スポーツイベントにボランティアとして参加したと回答した者の割合 (%)							
⑥指標の推移	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
目標				17%	18%	19%	20%	21%
実績			16.4%					
達成率								
⑦分　析	・日本スポーツマスターズ２００４福島大会のスポーツボランティアが中心となり平成１７年春に設立された「うつくしまスポーツルーターズ」の活動を核として、県内では「支える」スポーツの展開が図られており、上昇傾向にある。（Ｈ１７　７．４%）							



④指標名	県民カレッジ受講者数							
⑤指標の説明	県主催の講座及び市町村主催の講座における年間受講者数(人)							
⑥指標の推移	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
目標				32,000	33,000	35,000	37,000	40,000
実績	31,354	47,150	44,341					
達成率								
⑦分　析	・平成２０年度については、全国生涯学習フェスティバル地域別開催事業の受講者数が加味されているため人数が多いが、順調に推移している ・講座内容によって、参加者数が左右される。							



(政－様式3) 細項目調書

①施策名	礎1－(3) 文化やスポーツなどによる活動の場づくり				
②細項目	①文化・スポーツの振興による活動の場づくり			③細項目コード	1131
④主担当課	文化スポーツ局　文化振興課	⑤関係部局	文化ｽﾎﾟｰﾂ局、教育庁		

⑥細項目の具体的な取組み	ⅰ　県民の文化活動を振興し、日ごろの文化活動の成果の発表の場の充実を図るとともに、トップレベルの芸術・文化に身近に触れ親しむ機会の充実を図ります。 ⅱ　さまざまな文化資源を活用した地域活性化の取組みの促進などにより、地域の一体感や誇りの醸成を図ります。 ⅲ　文化財の保護を進めるとともに、伝統芸能など、地域に伝わる文化の継承を支援します。 ⅳ　総合型地域スポーツクラブの支援など、身近にスポーツに触れ親しむことのできる場の整備に努めます。 ⅴ　優秀な指導者の養成・確保・活用など指導環境の充実により、優れた競技者の育成を図ります。 ⅵ　各種スポーツ団体の活動を支援するとともに、ふくしまの「顔」となりうるシンボルスポーツやシンボルスポーツチームの創出に取り組むほか、恵まれた自然環境を生かして、スキーなどのウィンター・スポーツの振興を図ります。 ⅶ　文化団体やスポーツチームを「応援する文化」をはぐくむことにより、地域の一体感や誇りの醸成を進めます。

[現状分析]

⑦指標の分析	○成人の週2回以上の運動実施率 健康に関する関心が高まっており、平成21年度33.2%から今後もさらなる上昇を目指す。 ○福島県芸術祭参加行事数 芸術祭は、県内6重点地区持ち回りで開催しており、各地区の事情により、参加行事数に増減が生じる。平成21年度は、県中地区での開催で61行事であったが、県北地区で開催した前年度の73行事を下回っている。 ○県立美術館等の入場者数 文化センター・アクアマリン・県立博物館については、前年度の入館者数を上回ったが、美術館・文化財センター白河館（まほろん）については、前年度実績を下回った。 ○スポーツボランティア参加率 日本スポーツマスターズ2004福島大会のスポーツボランティアが中心となり平成17年春に設立された「うつくしまスポーツルーターズ」の活動を核として、県内では「支える」スポーツの展開が図られており、上昇傾向にある。（H17　7.4%→H21　16.4%）
⑧社会経済情勢等	・人口減少・超高齢化社会の到来 ・ライフスタイル・価値観の多様化 ・健康に対する関心の高まり
⑨平成21年度の主な取組み実績・成果	○うつくしま文化元気ルネサンス事業 ルネサンス宣言大会（喜多方市）、ルネサンスフェスタ（福島市）の開催、地域の魅力発見フォーラム（猪苗代町）、オータムキャンペーンの実施など ○声楽アンサンブルコンテスト全国大会開催事業 94団体（32道府県、1海外）が出場 ○地域連携型人材育成事業 バトミントン・ゴルフについて専任コーチによる指導を実施、ＪＦＡアカデミーコーチによるサッカーの授業を実施
⑩平成22年度の主な取組み	ⅰ　声楽アンサンブルコンテスト全国大会開催事業、ふくしま総文交流推進事業、夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト、うつくしま文化元気ルネサンス事業 ⅱ　(新) いきいき地域文化活力創出事業 ⅲ　(新) 指定文化財保存活用事業、(新) 21世紀ふくしま文化担い手育成事業、第52回北海道・東北ブロック民俗芸能大会 ⅳ　うつくしま広域スポーツセンター事業 ⅴ　地域連携型人材育成事業、(新)「陸上王国福島」基盤整備事業 ⅵ　(財) 福島県体育協会組織強化事業、スキーリゾートふくしま創造事業 ⅶ　(財) 福島県文化振興基金、(財) 福島県スポーツ振興基金

【課題整理】

⑪細項目を推進する上での課題	・活力に満ちた社会や個性豊かな地域の形成のため、県民の主体的で積極的な文化活動を促進することが課題である。 ・本県の優れた文化活動が十分に知られていない。 ・少子高齢化、過疎化等に伴い、伝統文化を継承する人材が不足し、担い手・後継者の育成が喫緊の課題である。 ・文化財の保護だけでなく、地域資源として適切に活用を進めるために、所有者等関係者の理解促進が課題である。 ・ライフステージ・ライフスタイルが多様化している中で、県民の運動やスポーツに対する潜在的なニーズに応えきれていない。 ・スポーツ・運動への興味関心を高めるため、シンボルスポーツや応援する文化の創出が課題である。 ・文化やスポーツの県有施設が有効に活用されるよう、機能の充実を図る必要がある。

【今後の取組みの方向性】

⑫今後の取組みの方向性	・県民の文化活動への参加を促すため、引き続き、優れた文化の鑑賞機会や身近な活動の場を充実していく。 ・本県の持つ地域特性や豊かな文化的資源を活用し、その魅力を県内外に広く発信することにより、地域の活性化に結び付ける。 ・後継者不足等により存続が危ぶまれている伝統文化の後継者の養成に取り組む。 ・地域資源として、県内の重要な文化財の保存・継承と適切な活用をバランス良く進めていく。 ・引き続き、総合型スポーツクラブなど身近にスポーツに触れ親しむことのできる場を充実させる。 ・優秀な指導者の育成等を進め、優秀な人材を輩出することにより、本県の競技力を高め、スポーツ活動の活性化を図るとともに、地域の一体感や誇りの醸成を図る。 ・県民の文化やスポーツに触れる場や学びの場を充実させるため、施設・設備の適切な維持管理を図るとともに、施設間の連携を一層強化するなど、魅力ある施設づくりを進める。

(政－様式3) 細項目調書

①施策名	礎1－(3) 文化やスポーツなどによる活動の場づくり				
②細項目	②県民の意欲に応える生涯学習の環境づくり			③細項目コード	1132
④主担当課	文化スポーツ局　生涯学習課	⑤関係部局	文化スポーツ局、教育庁		

⑥細項目の具体的な取組み	ⅰ　県民のライフステージに応じた多様な生涯学習に関するニーズに応えられるよう、生涯学習の情報ネットワークや学習環境・利便性の向上、発表の機会の拡充などにより、県民の自己実現の支援に努めます。 ⅱ　多様な生涯学習活動へのニーズに応えられるよう、指導者の養成や資質の向上を進めます。 ⅲ　アクアマリンふくしまやまほろんなど県有の生涯学習施設の学習機能や利便性の向上を推進します。

【現状分析】

⑦指標の分析	○アクアマリンふくしま入館者数 平成21年度は903,498人と前年度の871,666人を上回った。 ○文化財センター白河館の入館者数 平成21年度は31,953人と前年度の33,007人を若干を下回ったが、傾向としては横ばいの状況にある。 ○県立美術館入館者数 平成21年度は60,015人と前年度の89,998人を下回っており、2年連続で減少した。 ○県立博物館入館者数 平成21年度は93,596人と前年度の83,572人を上回った。9万人前後で推移している状況である。 ○県民カレッジ受講者数 平成21年度は44,341人であり、本県において「全国生涯学習フェスティバル」が実施され、一時的に受講者数が増加した前年度47,150人との比較では下回ったが、前々年度の31,354人と比較すると順調に推移している。
⑧社会経済情勢等	・景気の低迷 ・雇用情勢の悪化 ・団塊世代の大量退職 ・少子高齢社会に伴う伝統文化の担い手の減少
⑨平成21年度の主な取組み実績・成果	○夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト 全国生涯学習フェスティバル継承事業として、福島こどものみらい映画祭や青春エムンドライブ09を開催し、生涯学習の成果発表の場を提供した。 ○県民カレッジ推進事業 学習情報誌「夢まなびと」を発行（年2回発行、各10,000部）した。 ○施設管理事業(ふくしま海洋科学館) 魅力的な展示や企画展を行ったほか、年度末に「アクアマリンえっぐ」がオープンしたことにより、利用者の増加につながった。 ○美術館の整備・充実、博物館の整備・充実、 常設展、企画展を実施したほか、各種講座等を開催した。 ○図書館の整備充実 読書活動研修会の開催や図書館情報ネットワークの機器等の整備を行った。 ○自然の家の利用促進 各自然の家において企画事業を実施した。 ○施設管理事業（文化財センター白河館） 企画展を実施したほか、各種実技講座等を開催した。

⑩平成22年度の主な取組み	ⅰ　県民カレッジ推進事業、 （一部新）夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト ○夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト ・ライブステージクリニック講座　・ふくしまシネマカルチャー総合講座 ○福島の映像文化アーカイブ事業 →昭和40年代以前の各家庭にある8ミリフィルム等を広く募集・修復し、電子アーカイブとして保存。 (新)21世紀ふくしま文化担い手育成事業 ○ふくしま文化少年倶楽部 →本県文化の担い手を育成するため「詩の寺子屋」事業を実施。 ○伝統芸能交流会 →伝統芸能等をさらに次代につなげるため発表・交流の場を設け、地域文化の担い手を育成。 ⅱ　県民カレッジ推進事業 ⅲ　施設管理事業（ふくしま海洋科学館）、美術館の整備・充実、博物館の整備・充実、図書館の整備・充実、自然の家の利用促進、施設管理事業（文化財センター白河館）

【課題整理】

⑪細項目を推進する上での課題	・県民を対象とした意識調査（平成21年9月～10月実施）の結果から、生涯学習をしていない理由として「仕事や家事が忙しくて時間がない。」「きっかけがつかめない」「情報が手に入らない」等との回答が多く、学ぶ意欲がありながらも情報等がないためにあきらめている人が多い。 ・生涯学習を広げていくには民間との連携が必要であるが、まだ十分でない。 ・成果発表の場や生涯学習で学んだ方の活用（活躍）の場づくりが十分でない。 ・生涯にわたってあらゆる場所において学習することができるよう多様な学習機会の提供や、学びのきっかけとなる施設の展示等の充実、定期的な設備更新や施設・設備の適切な維持管理が課題である。

【今後の取組みの方向性】

⑫今後の取組みの方向性	・個人の学び（今まで生涯学習をしていない方を含めた）を広げるため、適切な情報を提供するほか、各世代に応じた学びの場や発表の場を設け、学ぶことの楽しさを伝える等、生涯学習の普及啓発を図る。 ・いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができるよう民間との連携をさらに強化・拡充し、県民の学習環境の整備を図る。 ・学んだことを地域づくり等に活かすことができるよう、関係機関（ボランティアや企画部門等）との連携や、学習者同士の交流の場づくりについて新たに取り組む。 ・文化活動や読書活動、自然体験などのさまざまな県民ニーズに応じた生涯学習の場を引き続き提供するほか、各施設における魅力ある展示の実施やイベントを開催する等、各施設の内容の充実や強化を図るほか、高い顧客満足度を維持向上させるための設備更新や施設・設備の適切な維持管理に取り組む。

(様式2) 施策対応事業一覧表

①施策名	礎1－(3) 文化やスポーツなどによる活動の場づくり	③細項目コード
②細項目名	①文化・スポーツの振興による活動の場づくり	1131
④細項目の具体的な取組み	ⅰ　県民の文化活動を振興し、日ごろの文化活動の成果の発表の場の充実を図るとともに、トップレベルの芸術・文化に身近に触れ親しむ機会の充実を図ります。 ⅱ　さまざまな文化資源を活用した地域活性化の取組みの促進などにより、地域の一体感や誇りの醸成を図ります。 ⅲ　文化財の保護を進めるとともに、伝統芸能など、地域に伝わる文化の継承を支援します。 ⅳ　総合型地域スポーツクラブの支援など、身近にスポーツに触れ親しむことのできる場の整備に努めます。 ⅴ　優秀な指導者の養成・確保・活用など指導環境の充実により、優れた競技者の育成を図ります。 ⅵ　各種スポーツ団体の活動を支援するとともに、ふくしまの「顔」となりうるシンボルスポーツやシンボルスポーツチームの創出に取り組むほか、恵まれた自然環境を生かして、スキーなどのウィンター・スポーツの振興を図ります。 ⅶ　文化団体やスポーツチームを「応援する文化」をはぐくむことにより、地域の一体感や誇りの醸成を進めます。	

⑤具体的な取組み	⑥重点プログラム	⑦事業名	⑧担当部局 担当課　名	⑨予算額 (千円)	⑩始期	⑪終期	⑫H22度事業の概要	⑬前年度の実績・成果 ⑭H22度の目標等
ⅰ	4	(新) いきいき地域文化活力創出事業 (文化施設連携)	教育庁 社会教育課	29,283	H22	H24	文化施設において、魅力ある展示や講座等を行うことにより、県民が県民の宝である「ふくしまの文化」に触れる場と機会を提供する。また、文化施設相互の連携を推進し、さらに集客力を高めるとともに、県民の学びの場の充実を図る。	－ 文化施設が連携することで地域の教育力の向上を目指す。
ⅰ	4	声楽アンサンブルコンテスト全国大会開催事業	文化スポーツ局文化振興課	14,521	H17	H22	日本の合唱レベルの向上を図るとともに、音楽文化の振興に寄与し、歌うことの楽しさを本県から全国に発信するため、公募及び各都道府県合唱連盟推薦の声楽アンサンブルグループによるコンテストを開催する。	①公募申込み数　９６団体 (中学校部門２４団体、高等学校部門３７団体、一般部門３５団体：２２都府県１海外 (ロシア)) ②出演団体数　　９４団体 (推薦８０団体、公募審査通過１４団体 (中学校部門５団体、高等学校部門５団体、一般部門４団体)：３２道府県１海外 (ロシア)) ③出演者数　　１，３３１名 ④来場者数　　３，６００名 推薦及び公募申込み団体数190団体以上
ⅰ		文学賞費	文化スポーツ局文化振興課	3,208	S23	H22	本県の文学の振興を図るため、福島県在住者または県内の学校・事業所に在籍・在勤者 (学生・生徒については県外勉学中の県出身者を含む) から、小説・ドラマ、エッセー・ノンフィクション、詩、短歌、俳句の5部門で作品を公募し、優秀作品を顕彰する。	①応募作品数　２６５点 (一般226点、青少年39点) ②受賞者数　　２３名 (文学賞4名、準賞4名、奨励賞8名、青少年奨励賞7名) 応募作品数の増加 (青少年の応募50点以上)
ⅰ		県展開催費	文化スポーツ局文化振興課	8,760	S22	H22	本県の美術の振興を図るため、県内在住者及び県出身者から、日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門で美術作品を公募し、一般に展覧するとともに、優秀作品を顕彰する。	①出品作品数　１，０４１点 ②来場者数　　８，３０２人 出品作品数及び来場者数の増加
ⅰ	4	全国高等学校総合文化祭開催事業	教育庁 学校生活健康課 全国高等学校総合文化祭推進室	55,576	H21	H23	平成22年度に本県において全国高等学校総合文化祭を開催することにより、次代の本県文化の担い手である高校生の豊かな感性や創造性をはぐくみ、郷土への誇りを醸成するとともに、本県の芸術・文化活動の活性化と裾野の拡大を図る。	・第35回全国高等学校総合文化祭福島県実行委員会を設置し、開催要項、事業計画、大会テーマ等を決定 ・大会テーマ　・ポスター原画　・マスコットキャラクター原画　・イメージソング歌詞、曲 ・大会テーマ揮毫等の決定 ・実行委員会を中心とする準備・運営組織体制の充実を図る ・開催地の関係者、関係機関との連携強化を図る
ⅰ	4	(新) ふくしま総文交流推進事業	教育庁 学校生活健康課 全国高等学校総合文化祭推進室	12,252	H22	H22	小中学校等が参加できるふくしま総文プレ大会開催等の文化交流事業を実施することにより、県民の文化活動の振興を図るとともに、文化活動や観光情報を始めとした本県の魅力を県外へ発信する。	- ・小中学校等が参加できるふくしま総文プレ大会を実施することにより、ふくしま総文の機運の向上を図る

⑤具体的な取組み	⑥重点プログラム	⑦事業名	⑧担当部局 担当課　名	⑨予算額 (千円)	⑩ 始期	⑪ 終期	⑫H22度事業の概要	⑬前年度の実績・成果 ⑭H22度の目標等
ii	4 5	うつくしま文化元気ルネサンス事業	文化スポーツ局文化振興課	8,979	H21	H23	①文化ルネサンスオータムキャンペーン 9～11月の期間に、各地で実施される文化事業を取りまとめ集中的に広報する。 ②うつくしま文化ルネサンスフェスタ 合唱や伝統芸能などの県内トップレベルの芸術を集めて、発表、鑑賞の大会（フェスタ）を開催する。 ③地域と文化を結びつける展開モデルの構築・提示 文化による地域づくりを行う団体を公募し、有識者を交えた協働検討を行う。また、その成果について広く周知する。	①ルネサンス宣言大会 喜多方市で開催。歌舞伎等の芸能の発表、鑑賞を行った。入場者約700人 ②オータムキャンペーン 文化イベント等を紹介する冊子を10,000部作成、配布した。 ③ふくしま文化ルネサンスフェスタ 福島市で開催。合唱や伝統芸能の発表、鑑賞を行った。入場者約1,100人 ④地域と文化を結びつける展開モデルの構築・提示 地域の伝承・文化について、11の応募団体との検討会を開催した。 ①文化ルネサンスオータムキャンペーン 広報冊子及びHPの内容を充実させ、各イベント等への参加者増を図る。 ②うつくしま文化ルネサンスフェスタ 開催地域での水準の高い芸術を集めて、前年同様の入場者数を確保する。 ③地域と文化を結びつける展開モデルの構築・提示 特に近代化産業遺産を活用しようとする団体との協働検討を重点的に行う。
ii		文化振興企画推進事業	文化スポーツ局文化振興課	9,123	H19	H22	①財団法人地域創造への負担金 ②特定非営利活動促進法の適正な運用を図るため、NPO指導監督を実施するとともに、行政との協働の取組みを進める。	①NPO認証件数　526法人 ②NPOとの連携・協働事業数　121件 ①NPO認証件数　542法人 ②NPOとの連携・協働事業数　111件
ii	4	(新) いきいき地域文化活力創出事業	文化スポーツ局文化振興課	7,767	H22	H24	県立博物館との連携により、会津若松、喜多方、三島、昭和などを会場に「会津・漆の芸術祭」を開催する。 ①アーティストインレジデンス事業 ・アーティストに会津に滞在してもらい、会津の特色を生かしながら作品を制作してもらう。 ②漆＋会津の工芸・コラボ事業 ・からむし織、編み組細工などの会津の伝統工芸と漆を融合した新たな芸術作品を制作してもらう。 ③漆＋食・コラボ事業 ・漆器の魅力を伝える食のイベントを実施する。 ④デザイン公募事業 ・漆器デザインの一般公募を行い、優秀作品に表彰を行う。	－ 地域住民の参加者数
iii	4	(新) 指定文化財保存活用事業	教育庁 文化財課	27,890	H22	H24	文化財をより県民に開かれたものとする目的から、国指定及び県指定文化財に対し、修理等の保存事業と積極的な公開などの活用事業を一体的に実施する場合に補助を行う。	― 国指定　29件　17，920千円 県指定　5件　9，920千円
iii		埋蔵文化財周知事業	教育庁 文化財課	104	H19	H24	国民共有の歴史的遺産である埋蔵文化財包蔵地の所在調査を実施し、より正確な情報を県民に提供する。また、都市計画等にも埋蔵文化財包蔵地の適切な保存活用を図るため、「埋蔵文化財包蔵地台帳」を整備するとともに、「福島県遺跡地図」を刊行し、「福島県遺跡情報システム」を更新する。	包蔵地台帳整備　5，400件 包蔵地台帳整備　3，600件
iii		第52回北海道・東北ブロック民俗芸能大会	教育庁 文化財課	2,856	S26	H25	子どもたちをはじめとした地域住民の地域の文化への関心を高め、大きな自信と誇りを持つとともに、民俗芸能に対する県民の理解を深めることを目的として、北海道・東北の1道6県の計8団体が出演して開催する。	平成21年10月18日（日）　岩手県北上市 福島県　1団体派遣 平成22年10月31日（日） 福島県文化センター 福島県　2団体出演（開催地のため）

⑤具体的な取組み	⑥重点プログラム	⑦事業名	⑧担当部局 担当課　名	⑨予算額 (千円)	⑩ 始期	⑪ 終期	⑫H22度事業の概要	⑬前年度の実績・成果 ⑭H22度の目標等
v	1 4	地域連携型人材育成事業 (双葉地区教育構想)	文化スポーツ局スポーツ課	18,424	H21	H23	双葉地区教育構想事業の一環として、富岡高校国際スポーツコース及び連携中学校のバドミントン・ゴルフ競技において、中央競技団体との連携のもと専任コーチを招聘し、国内トップレベルの指導による競技力の向上を図る。また、サッカーにおいても、ＪＦＡアカデミーコーチによる専門性の高い授業を実施する。	①バドミントン・　ゴルフについて、専任コーチによる指導を実施。 ②ＪＦＡアカデミーコーチによるサッカーの授業を実施。 同　上
v	4	「陸上王国福島」基盤整備事業	文化スポーツ局スポーツ課	2,435	H22	H24	駅伝大会等における本県選手の活躍は、県民へ大きな喜びや勇気を与え、地域や県の活性化に大きく寄与していることから、指導者の適切な配置や養成・確保・活用をはじめ各種事業に取り組み、競技力の更なる向上を目指す。	－ ①指導者の育成及び地域別指導の実施 ②トップアスリートを地域に派遣しての練習会の開催
v		選手の育成・強化	文化スポーツ局スポーツ課	66,597	H21	H23	国際大会や全国大会等で優秀な成績を収める選手・チームを輩出するため、強化選手や強化チーム、中・高校の運動部を指定し、長期的・組織的・計画的に選手を育成するとともに、各種大会で上位入賞を目指して活動している優秀な競技種目の選手・　チームに対し、集中的な強化を行うため、強化合宿経費を補助する。	①競技別一般強化合宿事業　４０競技 ②中学・高校運動部指定事業　４０校 ③ﾄｯﾌﾟｱｽﾘｰﾄｻﾎﾟｰﾄ事業　２５競技 ①競技別一般強化合宿事業　４１競技 ②中学・高校運動部指定事業　３２校 ③ﾄｯﾌﾟｱｽﾘｰﾄｻﾎﾟｰﾄ事業　１８競技
v	1 4	ジュニアアスリート育成事業	文化スポーツ局スポーツ課	4,500	H21	H23	国体に入賞が期待できるジュニアを対象に、最新の技術指導と国内トップクラスの競技者とのトレーニングにより、更なる競技力の向上を目指す。	①集中して強化する競技５種目を決定 ②うつくしまスポーツキッズ発掘事業のデータから中・高校生を選抜 ③国内トップクラスの競技者との合同合宿の実施 同　上
v vi		(財)福島県体育協会組織強化事業	文化スポーツ局スポーツ課	93,228	H7	H22	(財)福島県体育協会への派遣職員の人件費、旅費、需用費等の経費を補助する。	補助額：　９４，６２３千円 補助額：　９３，２２８千円
再掲		美術館の整備・充実	教育庁 社会教育課	182,192	S59	H32	常設展・企画展・教育普及事業の充実を図るとともに、利用者の視点に立った施設運営に努める。	1　常設展の充実 ①　常設展示（3回開催） ②　テーマ展示（2回開催） ③　移動美術館（1回開催） 2　企画展の充実 ①　企画展示（4回開催） ②　特集展示（2回開催） 3　教育普及事業の充実 ①　鑑賞講座 ア　館長特別講座（11回開催） イ　キッズ・レクチャー（2回開催） ②　実技講座 ア　実技講座（3回13日開催） イ　技法講座（2回4日開催） ③　親と子の美術教室（3回開催） ④　わんぱくミュージアム（3回開催） ⑤　1日創作教室（2回開催） 事業の更なる充実を図り、利用者の増を図る。

⑤具体的な取組み	⑥重点プログラム	⑦事業名	⑧担当部局 担当課　名	⑨予算額 (千円)	⑩始期	⑪終期	⑫H22度事業の概要	⑬前年度の実績・成果 ⑭H22度の目標等
再掲		博物館の整備・充実	教育庁 社会教育課	144,002	S61	H23	常設展・企画展・教育普及事業の充実を図るとともに、利用者の視点に立った施設運営に努める。	1　常設展の実施 2　企画展の実施 岡本太郎の博物館 3　教育普及事業の充実 自然史講座　4回 民俗学講座　5回 考古学講座　10回 美術講座　6回 歴史講座　10回など 事業の更なる充実を図り、利用者の増を図る。
再掲	14	(新)21世紀ふくしま文化担い手育成事業	文化スポーツ局 生涯学習課	1,927	22	24	○21世紀ふくしま文化担い手育成事業 1　ふくしま文化少年倶楽部 本県文化の担い手を育成するため「ふくしま文化少年倶楽部」を創設し、文学、音楽、美術、海洋文化、民俗学など、それぞれの分野における講座を開設する。 2　伝統芸能交流会 県内に受け継がれている優れた伝統芸能等をさらに次代につなげるため発表・交流の場を設け、地域文化の担い手を育成する。	ー ①文化少年倶楽部人数 ②交流会参加者数
再掲	45	(一部新) 夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト	文化スポーツ局 生涯学習課	9,798	21	23	○夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト 1　ライブステージクリニック講座 今まで生涯学習になじみの薄かった「青少年」や「中高年層」の県内で活動する音楽グループに対し発表の場を提供するとともに、プロからの指導を受けることができる講座を開設し、参加者の高い次元の学びにつなげる。 2　ふくしまシネマカルチャー総合講座 フィルムコミッション等と連携し映像を製作する「映画塾」を開催するほか、映像文化を広めるため「映画上映会」、監督・俳優等による映画塾制作映画の講評やパネルディスカッションを行う「映画フォーラム」を開催する。 ○福島の映像文化アーカイブ事業 昭和40年代以前の各家庭にある8ミリフィルム等を広く募集し、修復の上電子アーカイブとして保存する。	①ライブステージクリニック講座参加バンド数　28組 ②ふくしまシネマカルチャー総合講座参加者数　26名 ③制作映像数　5作品 ④イベント参加者22,231人(2日間) ①ライブステージクリニック講座参加バンド数 ②ふくしまシネマカルチャー総合講座参加者数 ③8ミリフィルム等の映像データ数
再掲		全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業	保健福祉部 障がい福祉課	6,148	S40	H24	千葉県で開催される第10回全国障害者スポーツ大会に選手団を派遣する。	①第9回全国障害者スポーツ大会 平成21年10月10日～10月12日　於新潟県 ②派遣選手団51名（選手31名、役員20名） 千葉県で開催される第10回全国障害者スポーツ大会に福島県選手団を派遣する。

(様式2) 施策対応事業一覧表

①施策名	礎1－(3) 文化やスポーツなどによる活動の場づくり	③細項目コード
②細項目名	②県民の意欲に応える生涯学習の環境づくり	1132
④細項目の具体的な取組み	i　県民のライフステージに応じた多様な生涯学習に関するニーズに応えられるよう、生涯学習の情報ネットワークや学習環境・利便性の向上、発表の機会の拡充などにより、県民の自己実現の支援に努めます。 ii　多様な生涯学習活動へのニーズに応えられるよう、指導者の養成や資質の向上を進めます。 iii　アクアマリンふくしまやまほろんなど県有の生涯学習施設の学習機能や利便性の向上を推進します。	

⑤具体的な取組み	⑥重点プログラム	⑦事業名	⑧担当部局 担当課　名	⑨予算額 (千円)	⑩始期	⑪終期	⑫H22度事業の概要	⑬前年度の実績・成果 ⑭H22度の目標等
i ii	1 4	(新)21世紀ふくしま文化担い手推進事業	文化スポーツ局 生涯学習課	1,927	22	24	○21世紀ふくしま文化担い手育成事業 1　ふくしま文化少年倶楽部 本県文化の担い手を育成するため「ふくしま文化少年倶楽部」を創設し、文学、音楽、美術、海洋文化、民俗学など、それぞれの分野における講座を開設する。 2　伝統芸能交流会 県内に受け継がれている優れた伝統芸能等をさらに次代につなげるため発表・交流の場を設け、地域文化の担い手を育成する。	－ ①文化少年倶楽部人数 ②交流会参加者数
i ii	4 5	(一部新) 夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト	文化スポーツ局 生涯学習課	9,798	21	23	○夢わくわく「学ぶんジャー」プロジェクト 1　ライブステージクリニック講座 今まで生涯学習になじみの薄かった「青少年」や「中高年層」の県内で活動する音楽グループに対し発表の場を提供するとともに、プロからの指導を受けることができる講座を開設し、参加者の高い次元の学びにつなげる。 2　ふくしまシネマカルチャー総合講座 フィルムコミッション等と連携し映像を製作する「映画塾」を開催するほか、映像文化を広めるため「映画上映会」、監督・俳優等による映画塾制作映画の講評やパネルディスカッションを行う「映画フォーラム」を開催する。 ○福島の映像文化アーカイブ事業 昭和40年代以前の各家庭にある8ミリフィルム等を広く募集し、修復の上電子アーカイブとして保存する。	①ライブステージクリニック講座参加バンド数　28組 ②ふくしまシネマカルチャー総合講座参加者数　26名 ③制作映像数　5作品 ④イベント参加者22,231人(2日間) ①ライブステージクリニック講座参加バンド数 ②ふくしまシネマカルチャー総合講座参加者数 ③8ミリフィルム等の映像データ数
i ii		県民カレッジ推進事業	文化スポーツ局 生涯学習課	5,619	17	22	○連携機関の参画による事業展開 県民の学習ニーズや学習環境に配慮した学習機会の提供等により、学習活動を支援する。 1　「地域づくりにつながる人づくり」連携強化モデル事業 2　生涯学習による人づくりセミナー ○学習情報の提供 県、市町村、大学等高等教育機関、民間事業者、NPO等が実施する学習機会について情報提供を行う。 1　生涯学習情報提供システムの運営 2　学習情報誌の発行	①県民カレッジ受講者数 (集計中) ①県民カレッジ受講者数の増加
iii		美術館の整備・充実	教育庁 社会教育課	182,192	S59	H32	常設展・企画展・教育普及事業の充実を図るとともに、利用者の視点に立った施設運営に努める。	1　常設展の充実 ①　常設展示(3回開催) ②　テーマ展示(2回開催) ③　移動美術館(1回開催) 2　企画展の充実 ①　企画展示(4回開催) ②　特集展示(2回開催) 3　教育普及事業の充実 ①　鑑賞講座 ア　館長特別講座(11回開催) イ　キッズ・レクチャー(2回開催) ②　実技講座 ア　実技講座(3回13日開催) イ　技法講座(2回4日開催) ③　親と子の美術教室(3回開催) ④　わんぱくミュージアム(3回開催) ⑤　1日創作教室(2回開催) 事業の更なる充実を図り、利用者の増を図る。

⑤具体的な取組み	⑥重点プログラム	⑦事業名	⑧担当部局 担当課　名	⑨予算額 （千円）	⑩ 始期	⑪ 終期	⑫H22度事業の概要	⑬前年度の実績・成果 ⑭H22度の目標等
iii		博物館の整備・充実	教育庁 社会教育課	144,002	S61	H23	常設展・企画展・教育普及事業の充実を図るとともに、利用者の視点に立った施設運営に努める。	1　常設展の実施 2　企画展の実施 岡本太郎の博物館 3　教育普及事業の充実 自然史講座　4回 民俗学講座　5回 考古学講座　10回 美術講座　6回 歴史講座　10回など 事業の更なる充実を図り、利用者の増を図る。
iii		図書館の整備充実	教育庁 社会教育課	67,106	H11	H24	1　資料購入 2　読書活動研修会 3　市町村協力事業 4　図書館情報ネットワーク事業	1　資料購入の実施 2　読書活動研修会開催（司書研修会の開催） 3　移動図書館及び市町村協力車の運行 4　図書館情報ネットワークの機器等の整備 ・公立図書館との連携を進め、学校図書館の支援を推進する。 ・貸出冊数の増加をめざす
iii		自然の家の利用促進	教育庁 社会教育課	198,561	H21	H23	自然環境の中で、自然体験や交流体験等を通して、心身ともに健全な青少年を育成するとともに、県民に体験活動の場を提供する。	1　全体の利用実績 四施設合計延利用者数183,180人 2　企画事業の実績 （1）郡山自然の家 夢冒険キャンプほか15事業 延参加者1,608人 （2）会津自然の家 森で遊ぼう！ファミリーキャンプほか24事業 延参加者3,661人 （3）相馬海浜自然の家 わくわく海のアドベンチャーほか29事業 延参加者1,986人 （4）いわき海浜自然の家 チャレンジ！海釣り！ほか27事業 延参加者2,744人 企画事業参加者からの意見等をふまえ、より質の高い事業内容を目指すことにより、リピーターなどによる施設のさらなる利用促進を図る。
iii		運営管理事業（ふくしま海洋科学館）	文化スポーツ局 生涯学習課	86	22	22	ふくしま海洋科学館のシンボルマークに係る商標権（10年）の更新手続きを行う。	－ ①アクアマリン入館者数の増加 （H21実績903,498人）
iii		施設管理事業（ふくしま海洋科学館）	文化スポーツ局 生涯学習課	456,525	21	25	ふくしま海洋科学館の管理運営を財団法人ふくしま海洋科学館に委託するとともに、諸施設敷地等に係る土地使用に関する手続きを行う。 ・施設の管理運営 ・本館施設用地等の使用	①アクアマリン入館者数 平成21年度実績　903,498人 ①アクアマリン入館者数の増加

⑤具体的な取組み	⑥重点プログラム	⑦事業名	⑧担当部局 担当課　名	⑨予算額 (千円)	⑩ 始期	⑪ 終期	⑫H22度事業の概要	⑬前年度の実績・成果 ⑭H22度の目標等
iii		運営指導事業（ふくしま海洋科学館）	文化スポーツ局 生涯学習課	317	21	25	ふくしま海洋科学館の指定管理者である財団法人ふくしま海洋科学館に対して管理運営に対する指導を行う。	①アクアマリン入館者数 平成21年度実績　903,498人 ①アクアマリン入館者数の増加
iii		利用料金免除補助事業	文化スポーツ局 生涯学習課	35,000	21	25	ふくしま海洋科学館条例第9条に基づき承認された利用料金免除分について、県が指定管理者に補助する。	①アクアマリン入館者数 平成21年度実績　903,498人 ①アクアマリン入館者数の増加
iii		施設管理事業（ふくしま海洋科学館）	文化スポーツ局 生涯学習課	11,552	13	22	ふくしま海洋科学館を運営・管理していく上で必要となる工事を行う。	①アクアマリン入館者数 平成21年度実績　903,498人 ①アクアマリン入館者数の増加
iii		施設管理事業（文化財センター白河館）	教育庁 文化財課	233,669	13	25	文化財センター白河館の効率的な運営を図るため、管理運営を指定管理者に委託する。 ・管理運営	①まほろん入館者数 平成21年度実績　31,953人 ①まほろん入館者数の増加